

令和7年度 学校評価報告書

学校名	三田市立狭間小学校
-----	-----------

1 学校教育目標

豊かな心で、自ら考え行動できる子の育成

2 今年度の学校重点目標

自信をつける教育の創造 ～難しい・深い・おもしろい～
 視点（主語を大切に）を明確にする（誰が、何にとって）
 (1)よい授業づくり（「何を学ぶ」だけでなく、「何ができるようにするか」の重視）
 (2)よい授業の土台づくり（誰もが安心して、笑顔で1日を終える）
 (3)よい学校生活のための習慣づくり「凡事徹底」（継続的指導と定期的評価）
 (4)よい学校生活のための環境づくり（安全・機能・美観）

3 総合的な自己評価

今年度においても、行事の内容や実施方法について制限なしで新たな様式で予定通りに実施することができた。保護者や地域の方にボランティアとして学習支援に入っていたり、保護者・児童のアンケートにおいても、全体的に肯定的な評価が多く、総合的な自己評価としては概ね良好と判断できる。引き続き、学校目標の達成に向け、「夢・やさしさ・笑顔あふれる学校」を目指す学校像に位置付け、学校・家庭・地域が連携し、より一層の教育の充実を目指す。

4 総合的な学校関係者評価

年間の行事に参加させていただいて、丁寧に先生方に、地域の方々に見ていただいていることを感じました。さらに、来年度も地域を積極的に活用し、学校と家庭、地域のつながりを大切できる取り組みを進めてもらいたい。

5 評価結果

自己評価				学校関係者評価
分野・領域	評価項目(取組内容)	評価結果及び分析	改善の方策	学校関係者評価委員会の意見
開かれた学校づくり	家庭や地域への情報発信と情報収集について	情報提供については概ね良好に取り組んでいる。行事や地域連携も充実した取り組みが行えた。しかしながら、地域ボランティアについてはさらなる活用が必要であると考える。開かれた学校として、外部人材の活用をさらに進めていきたい。	学校便り、学校 HP で、定期的な情報発信を確実にやっていく。学校便りについては、地域への配布を継続し、地域の学校として親しんでいただけるよう取り組んでいく。	学校と地域は一体であり、まちづくりの中に学校があるという視点を大切にしている。今後もその視点を持ちながら、学校運営をしていただきたい。
	住民参加の教育活動について	保護者や地域との連携も概ね良好な取り組みを進められた。一方、総合学習での地域交流や外部施設活用は、より積極的な活用に向け、図書ボランティア等との連携強化や人材活用の推進が求められる。	地域ボランティアの人材活用を具体的に進める。地域の方から話を聞く機会や交流、外部施設の活用を計画的に取り入れ、学校司書や図書ボランティアとの連携も継続して教育活動を充実させたい。	地域も子どもたちと関わりをもつことができたことはうれしい。今後も、思いや技なども継承していきたい。また、そんな機会を作っていたらありがたい。
学習指導	個別最適な学び・協働的な学びを意識した授業の確立について	計画的な指導や「がんばりタイム」は適切に実施できた。個別最適な学びを推進するにあたり、ICT 利用ルールの確認を全職員の共通理解のもと、再検討が必要と考える。	「がんばりタイム」は現状の取り組みを継続する。ICT 機器の活用を進めるにあたり、職員向けの情報研修を実施し、活用ルールの共通理解を徹底する。	基礎力だけではなく、教科の中においては、応用力も発揮しながらの授業をされており、関心をもち、力をつけている。今後も基礎力を大事にしつつ、仲間と関わりながら、力を育ててほしい。
	思考力・表現力の育成について	授業改善の取り組みは校内研究を重ねる中で適切に進められた。今後も研究授業を通し、事後研修会での振り返り等を次に生かす取り組みを重ねることが多雪である。複数教科での並行研究の在り方については、検討を進める。	現在の 3 教科並行スタイルを見直し、一つの研究授業での学びを次へ繋げられる方向性を検討していく。iPad を「表現ツール」として定着させるための活用法研究を進め、ルールについても整備していく。	ICT 利用の授業も多くなっているけれど、人と関わることや人前で発表する機会を大切にしていきたい。
学力向上指導改善プラン	家庭学習の習慣の確立と充実について	家庭学習の習慣化については、児童、保護者、教職員ともに課題を感じている。タブレットの活用なども含め、児童一人一人の課題に応じた取り組み方についてさらに研究を進めたい。	研究紀要を作成し、授業研究の振り返りを次へ繋ぐ。次年度も外部講師を招へいし、研究の深化を図る。総合的な学習では、地域住民からの聞き取りや外部施設活用を意図的に計画し、児童の体験を深める機会を増やす。	今年度もノートコンクールやノートまとめ、自主学習を掲示板に貼ることでいろいろな取り組みを見ることができて、児童の学習意欲を高める工夫がされている。
	読書活動の推進について	読書習慣は学校で定着しつつあるが、家庭との連携（親子読書等）には課題があり、実効性を高めるための取り組み方について検討していく。	はさまっ子読書の日の取り組みを再検討し、家庭で無理なく取り組める形を構築していく。	本校だけの問題というよりは、今の小学生全体の課題のように思う。学校だけでなく、家庭においても、読書週間を育てていきたい。
特別支援教育	特別支援学級在籍児童についての共通理解と支援体制について	特別支援は共通理解や連携がスムーズに行えており、効果的な指導につながっている。次年度への引継ぎについても児童理解の場を設け、適切に進められている。	特別支援は、知的・自閉情緒の両学級が全学年と交流することを見据え、これまで以上に情報交換と共通理解を密に行う体制を継続する。	特別支援学級在籍児童だけではなく、全児童において、きめ細やかな指導と支援が必要である。そのためには、来年度においても、全職員の共通理解と方向性を共有した連携が大切である。
	普通学級在籍児童で、支援を必要とする児童実態把握と支援について	通常学級の児童の困り感把握や、関係職員・校内委員会での実態把握・支援検討が適切に実施されている。環境整備や座席配慮などの具体的支援も適切に行われており、組織的な対応が機能している。	令和 8 年度から特別支援委員会および生活指導委員会への全担任参加を基本とする。これにより、児童の実態についてより厚い共通理解を図り、組織的な指導・支援体制をさらに強化する。	
人権教育	子どもたちの人権意識を高める取り組みについて	「やさしさ発見の日」の取り組みについての共通理解に課題が見られた。全領域において児童の協働性を促すための工夫を進め、人権意識の高まりにつなげていく。	「やさしさ発見の日」の取り組みについて再確認し、放送等で呼びかけ確実に実施する。全教育課有働の中で子どもたちの人権意識が高まるよう働きかけていく。	人権はさまざまに読ませていただいている。「やさしさ発見の日」の取り組みは、昔からあり、とても良いものである。続けてほしい。来年度からの人権はさまの中身も「やさしさ発見朝会」の内容が掲載されると聞き、とても良いと思った。
	保護者への啓発について	季刊の人権だよりなどを通して保護者にも「やさしさ発見の日」の取り組みへの理解をさらに広げ、家庭での話題が広がるよう取り組みを進めていきたい。	人権だより「はさま」に児童の作文や感想コーナーを掲載し、家庭との双方向な啓発活動へと改善を図る。	
生徒指導の充実	いじめ防止基本方針に基づく予防的生徒指導について	児童理解や組織的指導は丁寧に行っている。特にいじめ対応は、早期発見早期対応を徹底し、課題の解決につなげている。未然防止に向けた取り組みを強化していきたい。	組織的な対応を継続し、いじめ見逃しゼロを目指した取り組みを推進する。また、道徳教育の充実、情報モラル教育などを計画的に進めるなど心の教育の充実を図り、いじめの未然防止につなげていく。	全国的にもいじめの認知件数が増えている。学校だけの問題ではなく、社会問題である。地域ができることがあれば、一緒に取り組んでいきたい。
	児童についての共通理解と組織的対応について	児童の実態共有や組織的指導は月ごと、学期ごとまた必要に応じて適切に進めている。一方で、担任一人で抱え込まず管理職を含め丁寧に対応できた。	月ごと、学期ごと、また必要に応じた情報共有を徹底し、全職員共通理解のもとでの組織的対応を確実に進める。	来年度、先生方の児童に係る情報共有の仕方を変更されることが、子どもたちの安心につながることを期待しています。
	基本的な生活習慣と自主性の育成について	5分前行動等の時間遵守やあいさつの励行など、毎日の取り組み大切にした丁寧な指導が進められた。	5分前行動やあいさつの励行を徹底し、「自律」を促します。学校便りなどの活用し、家庭での生活習慣と併せて、意識を高めていく。	これも校長先生が言われる学校文化だと思ふ。継承して行ってほしい。

6 学校自己評価の実施状況について

時期	内容
1学期	保護者対象行事(運動会)アンケート・前期児童アンケート・いじめアンケート(1学期)・QU アンケート(第1回)
2学期	いじめアンケート(2学期)・QU アンケート(第2回)・保護者対象行事(音楽会)アンケート
3学期	後期児童アンケート・いじめアンケート(3学期)・保護者アンケート・教職員による学校評価

※学校自己評価…外部(児童生徒・保護者・地域等)アンケートの実施を含む

7 学校関係者評価委員会の活動について

時期	内容
6月23日	第1回学校地域運営協議会 学校経営、学校行事、生徒指導推進計画、学力向上指導改善プラン、学校評価計画、学校と地域との連携等
12月12日	第2回学校地域運営協議会 授業見学、学校行事、学力向上に向けた取組、学校と地域との連携等
3月5日	第3回学校地域運営協議会 学力向上指導改善プラン、学校評価、学校と地域との連携、本年度の反省と来年度に向けて等

8 学校評価の公表について

時期	手段	内容	添付
3月	保護者宛文書	学校評価(保護者評価・児童評価・教職員評価)の結果及び考察、今後の取り組み予定、改善策を記載。保護者配付。	
3月	学校ホームページ	学校評価(保護者評価・児童評価・教職員評価)の結果及び考察、今後の取り組み予定、改善策を記載。	

(別紙様式2)

※ 公表の具体がわかる印刷物等がある場合には添付願います

※ 行は、適宜加除願います。